

## 常陸大宮市支所庁舎等複合施設整備基本計画（案）の概要

### ◎計画策定の趣旨

本計画では、山方地域、美和地域、緒川地域、御前山地域の支所と公民館との再編、複合化を基本とした方向性を定め、持続可能な地域拠点づくりを進めるとともに、公共施設の総量の適正化をはじめ長寿命化、再編・利活用、コスト削減、投資的経費の平準化等に努めることを目的として策定します。

### ◎計画の位置づけ

「常陸大宮市総合計画」を最上位計画として、公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針を定めた「常陸大宮市公共施設等総合管理計画」の基本方針や用途別の改善方針に基づき、対象施設の老朽化状況の調査や施設評価を実施し、複合施設の個別施設計画として位置付け策定するものです。さらに市のまちづくりの方向性を示す「常陸大宮市地域創生まちづくり指針」をもとに、再編・複合化する施設の方向性や導入機能についての検討を行います。

### ◎計画の期間

令和2年度から令和11年度までの10年間とします。

### ◎対象施設

本計画においては、支所と公民館の複合化を基本としていることから、各支所・公民館の9施設を対象とします。

- ◆山方地域： 山方支所（現庁舎・旧庁舎）・山方公民館
- ◆美和地域： 美和支所（分庁舎）・美和山村開発センター・美和工芸ふれあいセンター
- ◆緒川地域： 緒川支所（現庁舎・分庁舎）・緒川総合センター
- ◆御前山地域： 御前山支所（御前山保健福祉センター）・御前山市民センター

### ◎対象施設整備の基本方針等

#### ○施設の老朽化状況把握

対象施設の長寿命化の推進を図るためには、長寿命化できる施設であるかどうかの判定を行う必要があります。そのため、構造躯体の健全性調査及び目視による劣化状況調査を実施しました。

#### ○対象施設整備の基本方針

本計画の対象施設の多くは、築40～50年を経過した建築物であり、耐用年数まで残り少ない状況ですが、実際の長寿命化・建替え等の判断については、財政状況や各種補助制度を総合的に勘案して設定するものとします。

#### ○再編・複合化の基本方針

再編・複合化の検討にあたっては、ハード面からの評価（対象施設の状態）から「長寿命化・維持」、「廃止」、「建替え・複合化」を判定するとともに、役割等についてはソフト面からの評価（地域の課題や住民ニーズ）を踏まえ決定していくものとします。

#### ○跡地の利活用方針

再編・複合化による建物の解体・撤去に伴い発生した跡地については、地域のニーズに合わせた有効な利活用方針を各地域において協議します。借地においては返却する方向で整理します。

#### ○長寿命化等の継続的運用方針

施設の老朽化は進行するとともに、環境の変化に伴う施設へのニーズは多様化していきます。関係部局と連携・協力しながら、劣化状況を的確に把握し評価することを定期的かつ継続的に行い、把握した情報や評価結果に基づき、保全計画の見直しを検討します。